

# 令和元年度事業計画書

特定非営利活動法人秋田花まるっグリーン・ツーリズム推進協議会

## 1 事業実施の方針

本県におけるグリーン・ツーリズムの発展に向けて、秋田県及び市町村自治体と連携しながら、その担い手の育成支援や環境整備などの諸活動を推進する。訪問者と農山漁村地域との交流の場づくりを継続するとともに、相互に地域を応援しあう「関係人口」のさらなる増加を目指し、持続可能な交流のあり方について提言していく。また、旅行サービス手配業に本格的に取り組み、特にインバウンドの取扱いを増やし、活動範囲の拡大を図る。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施予定日時 (B) 当該事業の実施予定場所 (C) 従事者の予定人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 予定人数	事業費の予算額 (単位：円)
グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業	①グリーン・ツーリズム花まるっ大学の開催を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及	(A) 定期講義：年4回(6、8、10、12月)、個別指導：随時 (B) 県内4ヶ所 (C) 6人	(D) 一般県民 (E) 50人	2,312,000
	②グリーン・ツーリズム体験講座（ここから秋田）の開設	(A) 月1回(7月～翌年3月) (B) 全県域 (C) 10人	(D) 関心のある県民 (E) 50人	120,000
	③ホームページ・SNSによる情報発信の強化	(A) 通年 (B) インターネット上 (C) 2人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	150,000
	④活力ある農山村チャレンジ事業	(A) 5月～2月 (B) 全県域 (C) 4人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	720,000
	⑤グリーン・ツーリズムサポーターの養成	(A) 年3回 (B) 県内3ヶ所 (C) 6人	(D) 県内在住の大学生、大学関係者、一般県民 (E) 20人	1,732,000
	⑥農村誘客キャンペーン(あきた農村の魅力★発見ツアー)	(A) 年2回 (B) 県内2ヶ所 (C) 5人	(D) 一般県民 (E) 60人	810,000
	⑦農村での交流拡大ブラッシュアップ事業	(A) 6月～3月 (B) 県内3ヶ所 (C) 5人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	1,009,000
	⑧グリーン・ツーリズムコーディネーター研修の開催	(A) 年1回 (B) 県内1ヶ所 (C) 5人	(D) 県内のG T インストラクター取得者 (E) 25人	1,113,000
アグリビジネス起業支援に関する事業	①教育旅行への受入対応	(A) 通年 (B) 全県域 (C) 2人	(D) 関心のある県民 (E) 不特定多数	80,000

	②ウェルカム秋田！農泊ビジネス推進事業	1) 農泊ビジネス現地体験研修	(A)年1回 (B)全県域 (C)10人	(D)移住に関心のある県外在住者 (E)10人	1,590,000
		2) 農泊ビジネス起業実践研修	(A)2回 (B)全県域 (C)3人	(D)移住に関心のある県外在住者 (E)5人	3,023,000
会員間の相互交流に関する事業	①実践者連絡会議(北東北グリーン・ツーリズムネットワーク情報交換・交流会)の開催		(A)1回(11月下旬～12月上旬) (B)県内1ヶ所 (C)3人	(D)会員 (E)60人	85,000
助言・政策提言に関する事業	①関連事業への助言・提案		(A)通年 (B)県内 (C)1人	(D)一般県民 (E)不特定多数	5,000
旅行業法に基づく旅行サービス手配業	①旅行サービス手配業務		(A)通年 (B)全県域 (C)2人	(D)一般県民、海外(タイ) (E)40人	50,000
事業費の予算額合計					12,799,000

## 【事業内容の説明】

### <グリーン・ツーリズム活動を通じた農山漁村地域の活性化に資する事業>

#### ①グリーン・ツーリズム花まるっ大学を通じたグリーン・ツーリズムの指導・普及

- ・定期講義（グリーン・ツーリズムサロン）：気軽に話をする・聞く・相談できる場を、定期開催する。  
開催時期：6月、8月、10月、12月の第3水曜日（予定：6/19、8/21、10/16、12/18）  
開催場所：遊学舎のほか、会員施設を利用する。  
新規入会者は、1回以上受講してもらう。  
2～3月に1回、まとめの全体講義を行う。
- ・個別指導：随時
- ・会報の発行

#### ②グリーン・ツーリズム体験講座（ここから秋田）の開設

- ・「ここから秋田」の定期開催  
月1回程度、会員自らの企画・主催による体験講座を継続して実施する。  
新規企画を開拓する。  
実施にあたり、下記のとおり手数料を設定する。  
手数料：参加費の10%・・・企画への助言・チラシ作成とDM発行・参加者取りまとめ・傷害保険の適用  
参加費の5%・・・チラシ作成とDM発行・傷害保険の適用  
参加者に「参加記念カード」を発行する。3枚ためると次回100円引きの特典を設ける。

#### ③ホームページ・SNSによる情報発信の強化

- ・レンタルサーバーの設置。  
ホームページ「美の国秋田・桃源郷をゆく」の管理・運営  
ホームページ内に「ぐりーんのおと」掲載箇所を紹介する新コーナーを設置する。
- ・SNSの運用  
既に運用しているツイッター、フェイスブックに加え、新たにインスタグラムでも情報発信を行う。  
ツイッター：@akita\_gt  
フェイスブック：秋田花まるっG・T推進協議会  
インスタグラム：akita\_gt

④活力ある農山村チャレンジ事業（情報発信）※秋田県受託事業

農山村地域の農地が有する公益的機能を県民共有の財産として次世代に引き継ぐため、地域住民が主体となって優れた景観を維持管理していることに加え、自然・文化・歴史・人など多様な地域資源を活用し、環境・交流活動にも取り組んでいる地域を、優良事例として県内外及び海外に発信することを目的とする。

内容：「情報発信推進員」（3名）の選定及び連絡調整、取材内容の英訳とホームページへの掲載

⑤グリーン・ツーリズムサポーターの養成 ※秋田県受託事業

県内在住の大学生等若い世代を対象として、秋田のことを実際に知ってもらってから、受入農家のお手伝いができる人材（サポーター）を育成する。

⑥農村誘客キャンペーン（あきた農村の魅力★発見ツアー） ※秋田県受託事業

旅行者と役割分担を明確化し、今後も実施できそうな価格設定と現地のコーディネート力要請を重視し、「あきた農村の魅力★発見ツアー」というモデル的な企画を実施する。

回数：年2回

⑦農村での交流拡大ブラッシュアップ事業 ※秋田県受託事業

農林水産省「農山漁村振興交付金」事業の広域ネットワーク型を活用して実施。

専門家（料理人等）派遣による飲食メニューの開発（3地区）を行う。

また、県内の農山漁村振興交付金実施団体の取り組みについてwebによる情報発信を行う。

⑧グリーン・ツーリズムコーディネーター研修の開催 ※秋田県受託事業

（一財）都市農山漁村交流活性化機構（まちむら交流きこう）の「GTインストラクター育成スクール」企画立案コース（GTインストラクター上級編）＜コーディネーターコース＞を開催する。

<アグリビジネス起業支援に関する事業>

①教育旅行への受入対応

・安全講習の実施：各地域協議会単位で開催してもらうことを基本とし、未受講をなくすために、受講を呼びかける。協議会は、秋田県と連携し、受講内容の確認をし、質の向上を目指す。

②ウェルカム秋田！農泊ビジネス推進事業 ※秋田県受託事業

1) 農泊ビジネス現地体験研修

田舎暮らし希望者、農泊ビジネスに興味があり、本県への移住を希望する人を対象として、農家民宿や農家レストラン等を活用したグリーン・ツーリズムに興味を持ってもらう。

対象者：田舎暮らし希望者、農泊ビジネスに興味のある方（本県への移住を希望する人）（10人）

研修先：県内の農家民宿、農家レストラン等

内容：GT基礎講義、研修先が提供する体験メニューへの参加、実践者との意見交換等

回数：1回（2泊3日）

2) 農泊ビジネス起業実践研修

短期研修の参加者、本県で農泊ビジネスでの起業を希望する方を対象として、起業プランの策定等、起業・経営に係る知識を習得してもらう。

対象者：短期研修の参加者、本県で農泊ビジネスでの起業を希望する方（5人）

研修先：県内の農家民宿、農家レストラン等

内容：起業プランの策定ワークショップ、農泊ビジネスの起業・経営・資格・許可関連等についての基礎講義、既移住者とのネットワーク構築等

回数：2回（2泊3日×2回）

<会員間の相互交流に関する事業>

①「北東北グリーン・ツーリズムネットワーク情報交換・交流会」の開催

今年度は、秋田県が開催当番県であることから、青森・岩手・秋田3県の実践者の情報交換の場を設ける。

<助言・提言に関する事業>

①各種会合への出席

<その他、目的を達成するための事業>

①旅行サービス手配業務

タイから本県への教育旅行を中心に、海外に特化した現地手配業務を行う。

また、「ツーリズムエキスポジャパン2019」（10/24～27）を視察し、本県ブースでのPRに協力する。